令和6年度 自己評価結果報告書

NO.1

学校法人ゆりかご未来学園

期間:令和6年4月1日~令和7年3月31日

幼保連携型認定こども園 日向こども園

令和 7年3月31日

A:大変良いB:良いC:一部検討を要するD:改善を要する→どれか1つにOをつけて、各項目ごとに意見・改善案があれば記入して下さい。

| A · A | 変良い B:艮い C:一部検討を要する D:改善を要する→どれか1つに I | こに思り | き・改善条があれば記入して下さい。 | | | |
|----------|--|------|-------------------|--------|---|------------------------------------|
| 項目 | 内 容 | Α | 評 B | 価 C | D | 意見・改善案 |
| 教育・保育理念 | ① 理念や基本方針を具現化して職員に周知されているか | 3 | 3 | 1 | | 理念や特色を生かした保 育を行う。 |
| | ② 理念や基本方針を具現化して園や地域の特色を生かし、 保護者に周知されているか | 2 | 4 | 1 | | |
| | ③ 理念や基本方針に基づいた教育・保育が行われているか | 3 | 3 | 1 | | 職員間の情報共有を図 る。 |
| | ④ 一人一人の子どもの人格を尊重した教育・保育について 職員が共通の理解をもっているか | 2 | 5 | | | |
| | ⑤ 年間教育・保育テーマに基づいてクラス別の特色を生か しているか | 4 | 3 | | | |
| 教育保育の計画 | ① 社会情勢や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に 応じて教育・保育課程の見直しを行っているか | 3 | 4 | | | 行事の日程内容は今後も 検討して行う。 |
| | 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了・卒園までの長期的な視野を持っているか五領域に基づいた活動や生活が展開できるように配慮し作成されているか | 3 | 4 | | | 個性や発達に応じ成長を 促していく。 |
| | 子どもの体験が豊かになるように行事を精選し、子ども ③ の発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直 しを行っているか | 3 | 4 | | | |
| 子どもの発達援助 | ① 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握 し、職員間にて共有されているか | 4 | 3 | | | 室内や園庭などの環境づくりを工夫し、子どもたちがより遊び込めるよう |
| | ② 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるように留意しているか | 4 | 3 | | | できるとよい。 |
| | ③ 子どもが主体的に活動できるような人的・物的環境が整備されているか | 4 | 2 | 1 | | 環境の工夫(保育、人 |
| | ④ 子どもの一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助を行う体制に努めているか | 3 | 3 | 1 | | 的、物的含む)は、引き 続き取り組む。 |
| | ⑤ 健康安全や発達の促進を十分に図るため、日々の環境整備を留意する指導を行っているか | 3 | 4 | | | こどもが給食を楽しみに できるように工夫する。 |
| | ⑥ 子どもに相応し、食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか | 4 | 2 | 1 | | |
| | ⑦ 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか | 2 | 4 | 1 | | |
| | 8 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、体験を積み重ねていけるよう計画を立て実施しているか | 3 | 4 | | | |
| | 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育まれていくよう 信頼関係を築く援助に取り組んでいるか | 3 | 3 | 1 | | |
| | 保護者の生活形態を反映し、入園時期や登園日数の違い ⑩ を踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた配慮に留意し ているか | 3 | 3 | 1 | | 個別の関りについて、職員間での共有や協力の必要性を感じる。 |
| | ① 個別の支援や関わりのある子どもが安心して生活できる 教育・保育環境を整備し、内容や方法に配慮しているか | 3 | 4 | | | |
| | 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教 ② 育・保育の内容や方法、保護者の相談に留意して行って いるか | 4 | 2 | 1 | | |

A:大変良い B:良い C:一部検討を要する D:改善を要する→どれか1つにOをつけて、各項目ごとに意見・改善案があれば記入して下さい。

| | 変良い B : 良い C : 一部検討を要する D : 改善を要する→どれか1つに 内 容 | 評価 | | | | |
|----------------|---|----|---|---|---|--|
| 項目 | | Α | В | С | D | 意見・改善案 |
| 保護者に対する支援助 | ① 子どもの発達や教育・保育などについて、保護者会の場を設け、保護者との共通理解に努めているか | 4 | 2 | 1 | | |
| | 虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所な ② ど専門機関との連携)の下、不適切な療育を受けている と疑われる子どもの早期発見及び予防に努め、通知、報 告義務を行っているか | 3 | 3 | 1 | | |
| | 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・ ③ 援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行う よう努めているか | 3 | 3 | 1 | | |
| 教育・保育を支える組織的基盤 | 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、衛生面や職員 ① の健康管理に対応する専門職員の資質向上に努めている か | 4 | 3 | | | 防災・防犯対策については、より実態に即した内容や準備ができるよう、様々な角度から検証していけるとよい。 ICT等を活用し職員の業務の効率化を図る。 |
| | ② 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し適切な対応や体制を整備しているか | 6 | 1 | 1 | | |
| | 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの ③ 安全確保のための適切な対応を実施できるように整備し ているか | 4 | 2 | 1 | | |
| | ④ 地震などの自然災害に対する防災訓練・防災対策を行い、危機管理に努めているか | 4 | 2 | 1 | | |
| | ⑤ 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育・保育の 内容の充実と質の向上が図れるよう努め導いているか | 4 | 3 | | | |
| | ⑥ 研修等、教育・保育の質の向上を図るべく、自己研鑚へ の取り組みを計画的に実施しているか | 5 | 2 | | | |
| | ⑦ 事業計画が職員に周知されているか | 2 | 5 | | | 幼児教育センター等の研 修を活用し、園内研修等 の充実を図り、職員の質 の向上を図る。 |
| | ⑧ 教育・保育の事業計画が利用者に周知されているか | 4 | 3 | | | |
| | ⑤ 守秘義務の遵守が全職員に周知され、誓約書署名の下に 守るように指導しているか | 4 | 2 | 1 | | |
| | ⑩ 個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか | 3 | 4 | | | |
| | ① 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・ 機能しているか | 3 | 4 | | | |
| | ② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか | 3 | 4 | | | |
| | (3) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育・保育 の改善が図られるように努めているか | 4 | 3 | | | |
| | ④ 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実行に努めているか | 4 | 3 | | | |

施設長評価

- 〇園児一人一人に寄り添い(こどもの人権を尊重する)、主体的に活動できるよう取り組み、日々の教育保育活動を行うことができた。
- 〇「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した日々の保育活動の充実に努める.
- ○地域への情報発信、園庭開放や青い鳥プレールームで子育て支援等の充実を図る。
- OICTを活用し、保護者への情報発信の充実、職員の業務の効率化を図る。
- ○オンライン研修の充実もあり、職員の研修への機会は増えた。園内研修等の充実を図る。
- ○避難場所や経路、方法を見直し訓練等行った。
- 〇施設等の危険個所等の点検、整備(計画的に)を行った。引き続き、危機管理に関して(バス運行、防災、防犯、睡眠時、食事、プール、熱中症対策など)の見直しを行い安全対策を図る。